

指定都市市長会 文化芸術・教育部会

国内外のアート・マーケットの概況

2018/7/23

一般社団法人 芸術と創造 代表理事 綿江彰禪
Platform for Arts and Creativity

Web: <http://www.pac.asia> E-mail: watae@pac.asia

略歴

- 2006年 名古屋大学大学院 経済学研究科 修了
- 2006年 (株)野村総合研究所 入社 コンサルティング事業本部
- 2014年 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修了
- 2016年 (株)野村総合研究所 退職・独立

- 現在、一般社団法人 芸術と創造 代表理事

文化政策のコンサルテーションを実施

- 文化庁「地域の文化資源を保存・活用した取組みによる文化振興・観光振興への波及効果に関する調査研究」（2017年度）
- 文化庁「「アートプロボノ」の普及に向けた調査検証事業」（2017年度）
- 文化庁「専門人材による文化団体における社会貢献活動調査」（2016年度）
- 文化庁「劇場、音楽堂等の特徴的な取組に関する調査」（2016年度）
- 文化庁「文化芸術創造都市推進事業アドバイザー」（2018年度）
- 文化庁「社会課題の解決に貢献する文化芸術活動の事例に関する調査研究」（2014年度）
- 文化庁「国際発信力のある現代美術のキュレーター育成のための状況等に係る調査」（2014年度）
- 文化庁「諸外国の現代美術に関する状況等に係る調査研究」（2013年度）
- 文化庁「国立文化施設におけるパブリックリレーションズ機能の向上に関する調査研究」（2012年度）
- 文化庁「文化庁芸術祭の今後の在り方に関する調査・検討」（2018年度）
- 文化庁「国民文化祭の開催効果等に関する調査研究」（2013年度）
- 文化庁「国民文化祭の知名度・注目度の向上に係る調査研究」（2014年度）
- 文化庁「国民文化祭の効果的運営に関する調査研究」（2015年度）
- 文化庁「国民文化祭の機能強化に向けた調査研究」（2016～17年度）
- 文化庁「舞台芸術に関わるマネジメント専門人材の労働環境実態調査」（2016年度）
- 文化庁「諸外国の文化政策に関する調査研究」（2012年度）
- 文化庁「諸外国の文化予算に関する調査」（2014・2016年度）

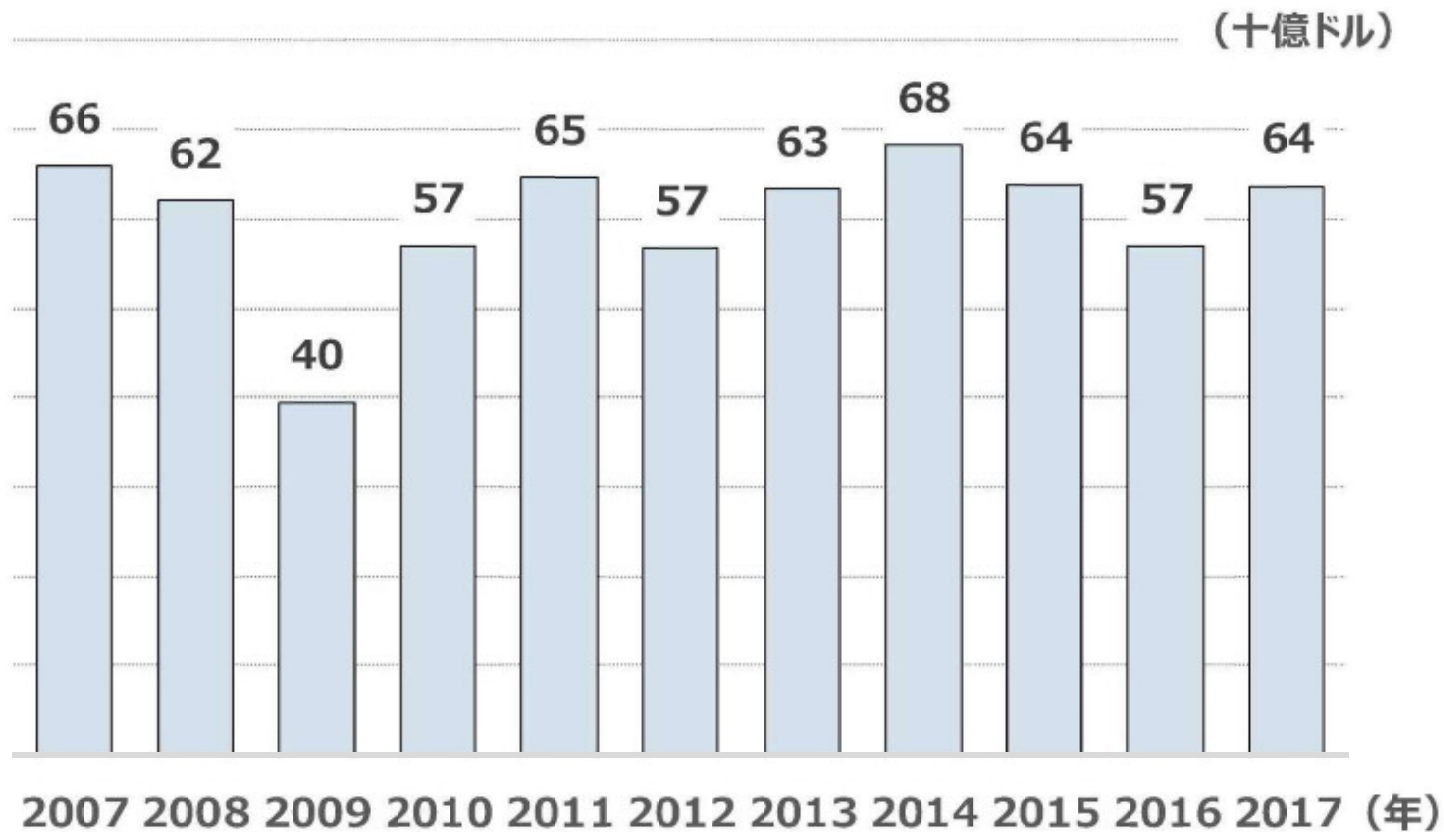
文化政策のコンサルテーションを実施

- 日本芸術文化振興会「文化芸術活動への助成による波及効果に関する調査研究」（2017～18年度）
- 豊島区「東アジア文化都市の開催に向けた調査検討」（2016年度）
- 豊島区「東アジア文化都市2019豊島の開催に向けた包括支援業務」（2017～18年度）
- 品川区「品川区文化芸術振興協議会運営支援および調査委託」（2017～18年度）
- 東京都歴史文化財団「プロフェッショナル人材養成研修レクチャーシリーズ企画制作」（2017年度）
- 東京都歴史文化財団「海外主要公的文化団体の長期戦略に係る調査・分析業務」（2017年度）
- としま未来文化財団「改正労働契約法に関する公立文化施設の対応に係る調査検討業務」（2016～17年度）
- 六本木アートナイト実行委員会「六本木アートナイト2016事業評価監修」（2016年度）
- アート東京「アート産業規模の推計に係る調査研究」（2016年度・2017年度）
- 広島県「創造都市に係る調査検討」（2012年度）

産業政策のコンサルテーションも手がける

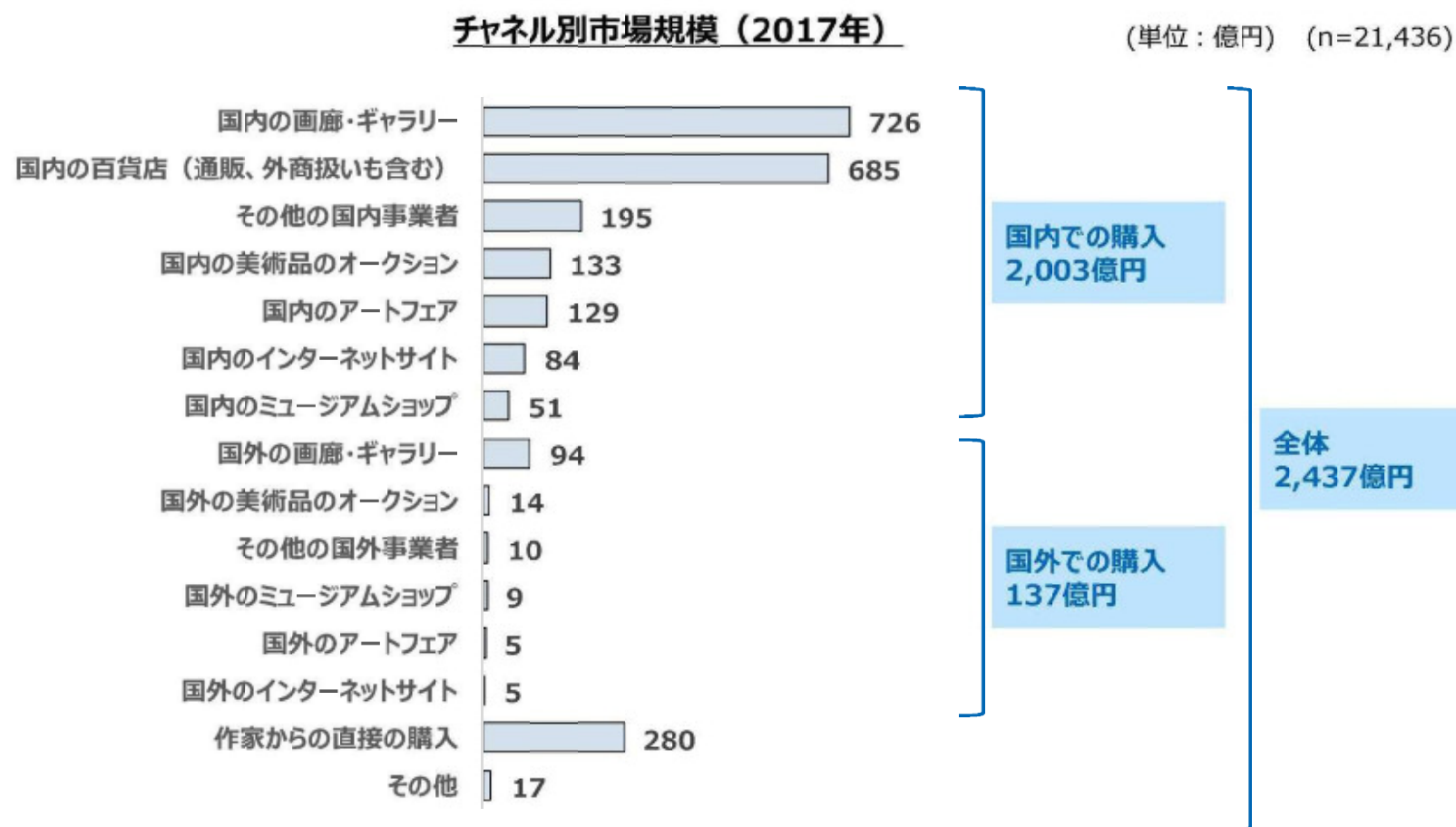
- 経済産業省クリエイティブ産業課「国際競争力強化のためのデザイン思考を活用した経営実態調査」
- 経済産業省クリエイティブ産業課「地域資源の発掘と国際発信のための支援施策検討調査」
- 経済産業省クリエイティブ産業課「クリエイティブ産業に係る創作環境等の整備のための調査」
- 経済産業省紙業服飾品課「我が国皮革製品製造業の産業集積地における競争力強化のための戦略検討調査」
- 経済産業省紙業服飾品課「我が国の皮革産業のブランド力強化に関する調査」
- 経済産業省紙業服飾品課「皮革産業の国際競争力強化に向けたシニア人材等の活用に関する調査」
- 経済産業省紙業服飾品課「我が国皮革産業の国際競争力強化手法に関する基本調査」
- 経済産業省紙業服飾品課「足入れの良い高付加価値革靴設計ガイドライン作成に関する調査」
- 経済産業省繊維課「ASEAN諸国を中心とした海外展開国別戦略調査」
- 経済産業省ヘルスケア産業課「医療機器・サービス国際化推進事業」
- 経済産業省ヘルスケア産業課「医療サービス国際化推進事業」
- 経済産業省国際標準課「省エネルギー等国際標準開発」

世界のアート市場は600億ドル（約7兆円）前後で推移。 画廊・ギャラリーとオークションが2大チャネル



出所) An Art Basel & UBS「The Art Market 2018」

日本の美術品市場は約2000億円。画廊・ギャラリーと百貨店が2大チャネル

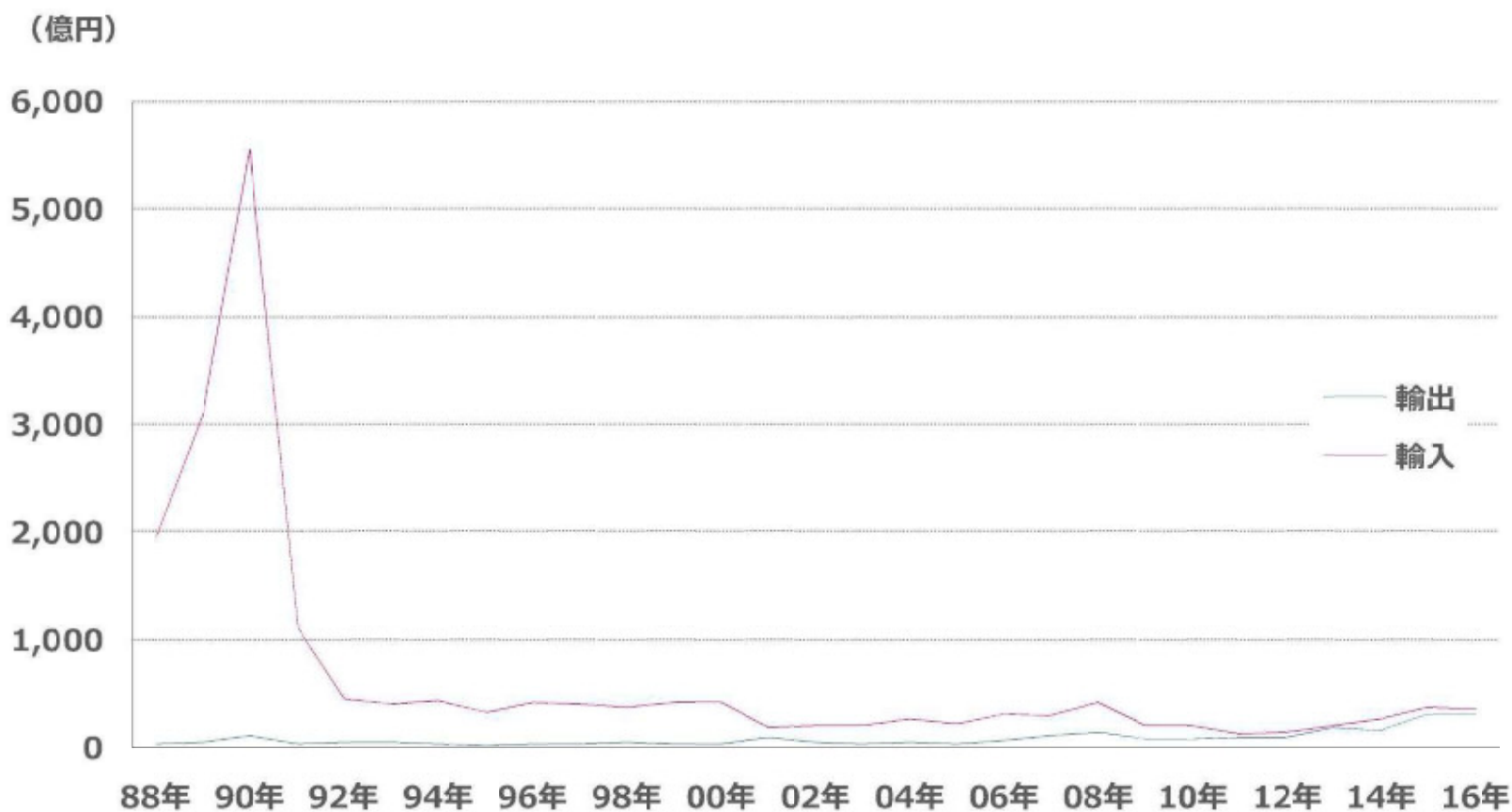


出所) (一社) アート東京・(一社) 芸術と創造作成

参考) 美術品の輸出入の状況

1990年は5,500億円規模あった美術品輸入も1992年以降は500億円未満で推移

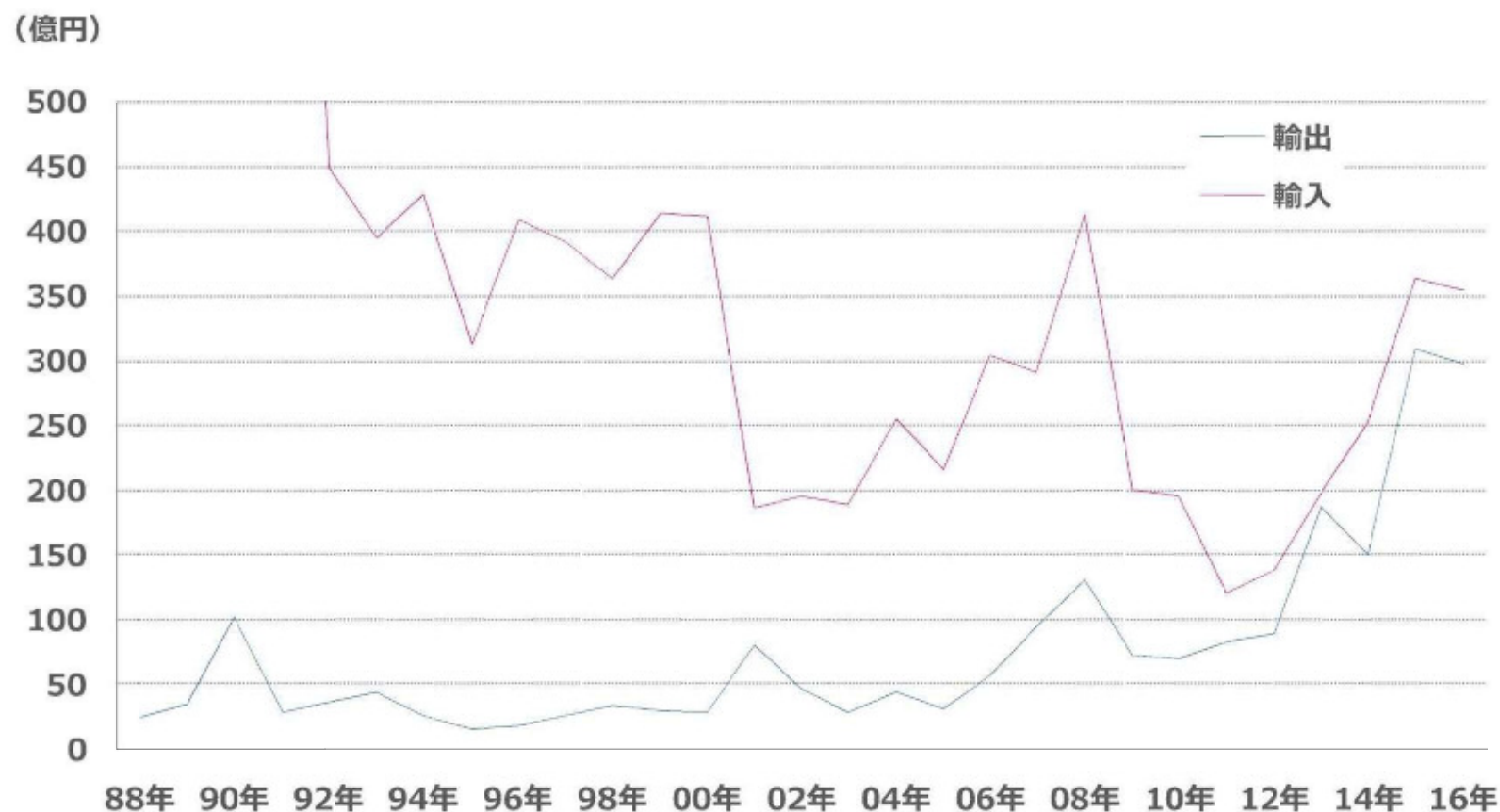
美術品の輸出入額の推移



参考) 美術品の輸出入の状況

輸出額は2005年以降拡大傾向にあり、近年は輸入額と拮抗している

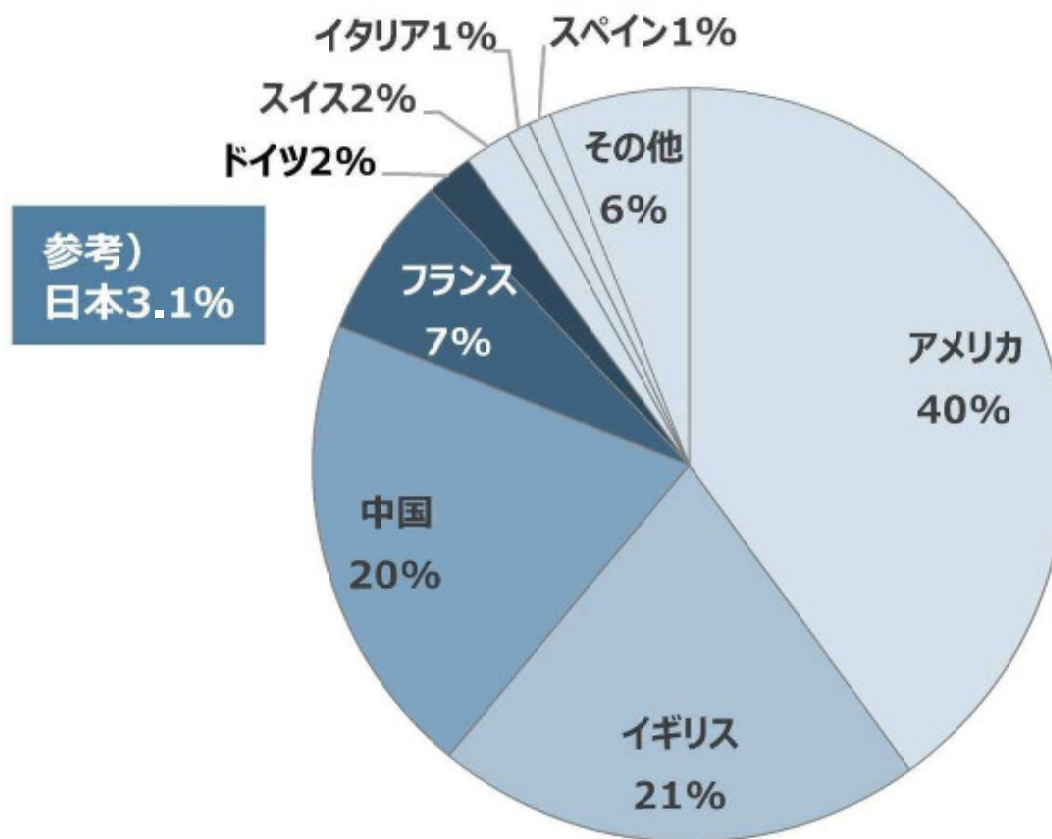
美術品の輸出入額の推移 (拡大)



出所) 財務省「貿易統計」を基に (一社) アート東京・ (一社) 芸術と創造作成

世界の美術品市場（約7兆円）の中でのシェアは3.1%と推計

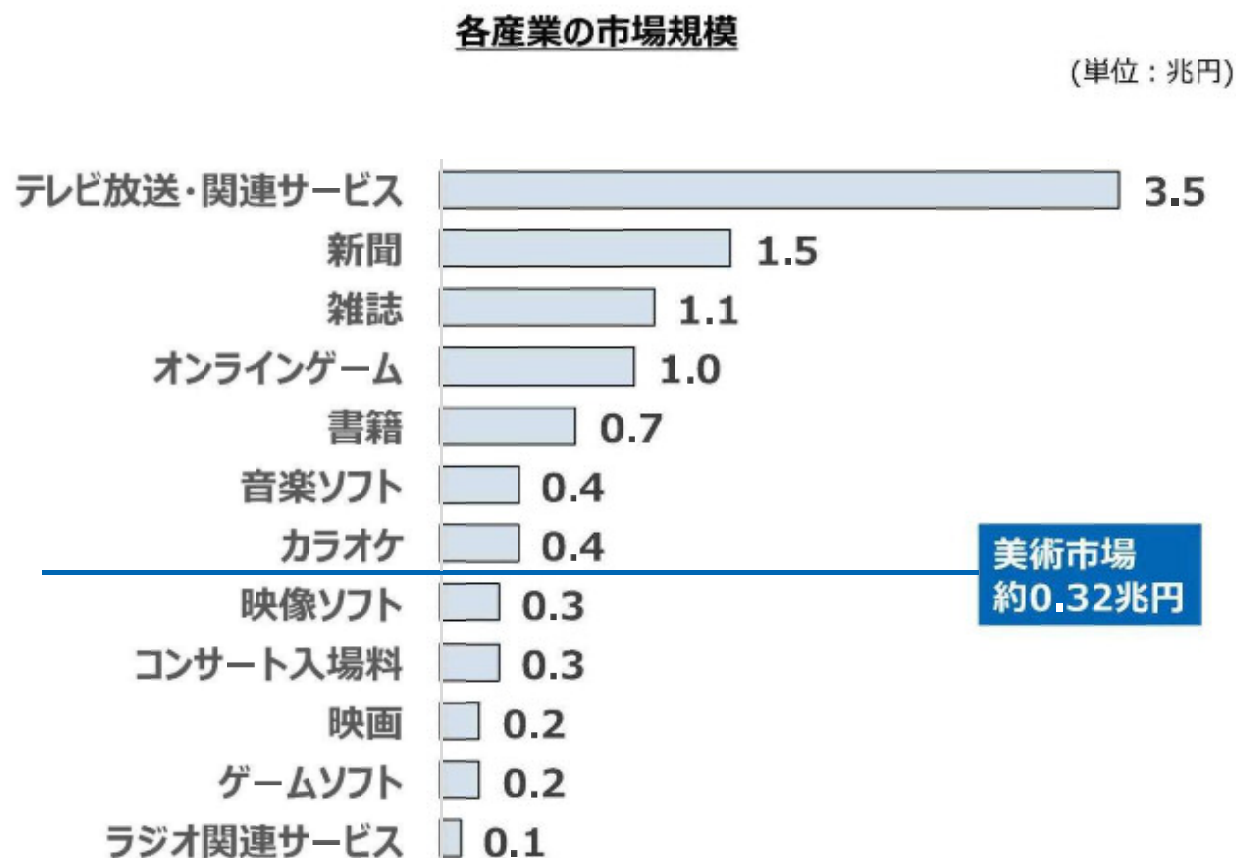
世界に占める各国の美術品市場規模



美術品・美術関連品・関連サービスを含めると、市場規模は3,260億円と試算



美術産業は、 映像ソフト、コンサート入場料、映画、ゲームソフトなどの市場規模を上回る



出所)経済産業省「コンテンツ産業の現状と今後の発展の可能性」を元に芸術と創造作成

近年は踏み込んだアートとの関係を探る企業も多い

アートと企業の関わりの変遷

- 経営者のコレクション
- 来客向けの設え

- 本業型（文化施設経営、展覧会実施、販売）
- 集客（シャワー効果）
- パブリック・アート（1% for art）
- メセナ・贖罪・CSR

- 社員の生産性向上・人材育成
- イノベーション創出
- ガバナンス強化
- 多様性の確保

- 商品差別化（ファッション、観光、不動産）
- 商品・店舗PR
- 企業ブランディング



行政とアート・マーケットの関わりは限定的。

例えば、主要なアートフェアの主催はほぼ民間団体（コンベンション・センター等）

世界の主要なアートフェア（美術品の見本市。様々なギャラリー・画廊が出展）

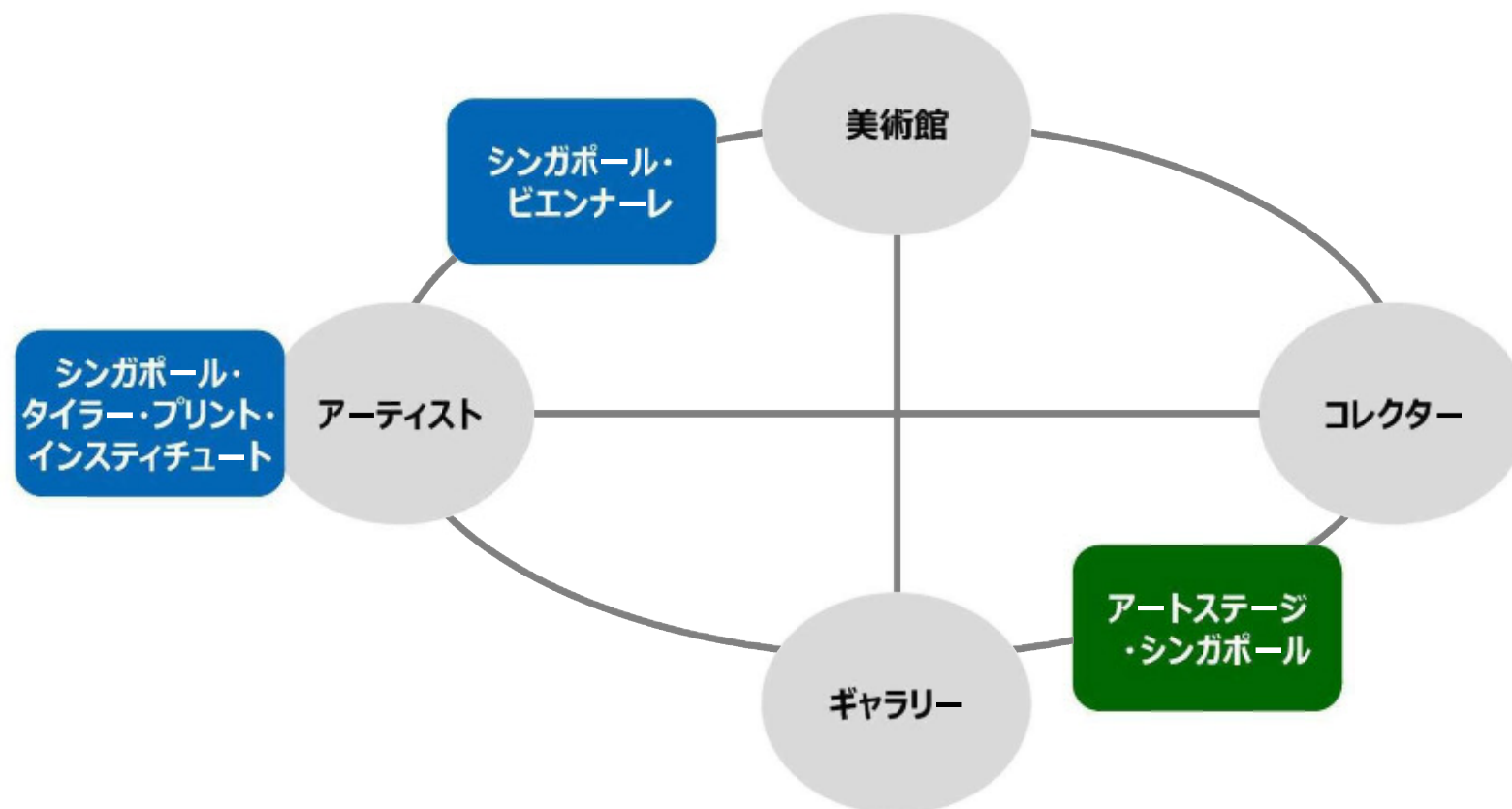
名称	実施場所	スポンサー
フリーズ・ロンドン	イギリス・ロンドン	ドイツ銀行
フリーズ・ニューヨーク	アメリカ・NY	ドイツ銀行
アーモリー・ショー		—
アート・バーゼル・マイアミビーチ	アメリカ・マイアミ	UBS
ナダ・マイアミビーチ (NADA)		—
アート・バーゼル	スイス・バーゼル	UBS
リスト (LISTE)		プライベート・バンク
ヴォルタ (VOLTA)		—
アート・ケルン	ドイツ・ケルン	—
フィアック (Fiac)	フランス・パリ	—
アート・バーゼル香港	中国・香港	UBS
アート・ステージ・シンガポール	シンガポール	—

出所) (一社) アート東京・(一社) 芸術と創造作成

**国内ではアートフェア東京（会場：東京国際フォーラム）が開催。
4日間で約6万人が来場。販売額は約29億円**



例えば、
シンガポールでは、アートのエコシステムを意識し、ビエンナーレとアートフェアが連携



元々秋に実施されていたビエンナーレを、2013年よりアートフェアが実施される春に
会期を変更。美術館等でもあわせてレセプションを実施

アート・ステージ・シンガポール (2010年~)



シンガポール・ビエンナーレ (2006年~)



政府設立（2002年）のシンガポール・タイラー・プリント・インスティテュートでは一流作家をレジデンスさせ、印刷技術を提供。期間中制作した一部作品を譲り受け、フェア等で販売

